

平成26年度

天塩町教育委員会点検・評価報告書

平成27年 12 月

天 塩 町 教 育 委 員 会

－ 目 次 －

はじめに

1	点検評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象	1
3	点検評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	1
第1	教育委員会の活動状況	
1	教育委員名簿	2
2	教育委員会議の開催状況	2
3	教育委員会議審議内容等	2～4
4	教育委員の活動状況	4～5
第2	社会教育委員の活動状況	
1	社会教育委員名簿	6
2	社会教育委員会議等の開催状況	6
3	社会教育委員会議の審議・報告内容等	6～7
4	社会教育委員の活動状況	7
5	社会教育施設等の利用状況	7
第3	天塩町の学校概要	8
第4	主な事務事業の点検・評価	
	「いきいきと学び創造性ところ豊かなまちづくり」	
I	学校教育の充実	
	・教育内容の充実	9～12
	・教育環境の整備・充実	12～14
II	生涯学習の推進	
	・家庭教育機能の向上	15
	・生涯学習活動の推進	15～16
	・地域教育力の活性化	16
III	芸術・文化の振興	
	・芸術・文化活動の振興	16
	・文化の保存・伝承	17
IV	生涯スポーツの推進	
	・スポーツ活動の推進	17
	・スポーツ施設の整備・充実	17
第5	点検・評価に関する有識者（学識経験者）の意見	
1	教育委員会の活動状況	18
2	主要施策などの点検・評価	18
3	終わりに	19

はじめに

1 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という）の一部が改正され、法第27条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、地域住民への説明責任を果たすため、平成26年度における教育委員会の主な活動状況や実施状況についてまとめ報告するものです。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、天塩町総合振興計画との整合性を図り、平成26年度における天塩町教育行政執行方針の施策に基づく主な事務事業として4項目9区分の事業内容について評価を行っています。

3 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、平成26年度の施策や主な事業等について、事業内容を示すとともに、事業効果や課題等を分析し、今後の推進方策や方向性等を示しています。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

第1 教育委員会の活動状況

1 教育委員名簿

職名	氏名	任期(在籍)
委員長	渡部 旭	平成13年5月10日～平成26年12月19日
//	横溝 裕美子	平成23年10月1日～平成27年9月30日
委員長職務代理者	岩澤 貴之	平成26年12月20日～平成30年12月19日
委員	佐久間 勇次	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員(教育長)	上林 哲也	平成24年10月1日～平成28年9月30日

2 教育委員会議の開催状況

項目	教育委員会議	会議等審議 件数	学校行事及び 訪問関係件数	その他各種 事業・大会等
回数・件数	14回	46件	23件	28件

3 教育委員会議の審議・報告内容等

開催日	審議・報告内容等
第5回 4月9日	(報告) ・教育長諸報告について (審議) ・第8期天塩町社会教育中期計画の策定について
第6回 4月28日	(報告) ・天塩町立学校評議員の委嘱について ・平成25年度天塩町一般会計補正予算(専決処分)について
第7回 5月27日	(報告) ・天塩町学校推進委員の委嘱について ・学校位置の変更届出について (審議) ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(教育費等)について ・天塩町要保護及び準要保護児童生徒認定要綱の制定について (認定)

	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護児童生徒の認定について (協議) ・小中学校の運動会・体育大会について
<p>第8回 6月24日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へき地等学校の移転等に係る級別指定の変更について ・スクールバス車庫等整備事業について ・学校給食地場食材利用拡大モデル事業について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6期天塩町総合振興計画の実施計画(変更)について (協議) ・北海道市町村教育委員研修会について
<p>第9回 7月29日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス車庫等整備事業について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の休憩時間の付与に関わる取り扱いについての制定について ・天塩町立学校管理規則の手続き及び様式に関する規定の一部改正について
<p>第10回 8月29日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天塩町立学校評議員の委嘱について <p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天塩町スポーツ大会等の参加補助金交付要綱の制定について ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(教育費)について
<p>第11回 9月29日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天塩町立学校運営協議会推進委員会設置要綱の制定及び推進委員会委員の委嘱について ・平成25年度天塩町一般会計(教育費等)決算報告について ・スクールバスの物損事故について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度学芸会、学校祭、文化祭の出席について
<p>第12回 10月30日</p>	<p>(審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(専決処分)について (協議) ・平成26年度教育委員学校訪問について
<p>第13回 11月26日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の休職期間の延長発令(内申)について

	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの物損事故について (審議) ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(教育費等)について ・平成25年度天塩町教育委員会点検・評価報告書について
第14回 12月19日	<ul style="list-style-type: none"> (報告) ・スクールバス衝突事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(教育費等)の追加について (審議) ・就学校(指定校)の変更について
第15回 12月22日	<ul style="list-style-type: none"> (選挙) ・天塩町教育委員会委員長の選挙について (審議) ・天塩町教育委員会委員長職務代理者の指定について ・天塩町教育委員会委員の議席について
第1回 1月30日	<ul style="list-style-type: none"> (審議) ・平成27年度天塩町一般会計当初予算(教育費等)について ・各委員会、審議会委員の選出について
第2回 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> (審議) ・平成26年度天塩町一般会計補正予算(教育費等)について ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例について (協議) ・平成26年度卒業式について
第3回 3月19日	<ul style="list-style-type: none"> (報告) ・平成27年度学校職員人事異動について ・平成27年度教育委員会臨時職員の雇用について (審議) ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について (協議) ・平成27年度入学式について

※ 上記のほか、教育長諸報告及び行事予定の協議について毎回実施。

4 教育委員会のその他活動

<学校行事・訪問関係>

- ・教職員辞令伝達式に出席(4/3)
- ・各小中学校及び高等学校の入学式に出席(4/6・8)

- ・天塩町教育研究協議会総会に出席（4/17）
- ・各小中学校の運動会に出席（6/1・8）
- ・天塩町児童体育大会に出席（6/19）
- ・天塩高校存続要請に伴う周辺四町の中学校を訪問（6/18, 6/20, 7/22, 11/18, 12/1）
- ・公立高校配置計画地域別検討協議会に出席（7/7）
- ・天塩中学校吹奏楽部定期演奏会に出席(10/2)
- ・各小中学校の学芸会・学校祭・文化祭に出席（10/5・12）
- ・各小中学校の学校訪問実施（11/10・21）
- ・天塩町教育研究発表大会に出席（2/6）
- ・各小中学校及び高等学校の卒業式に出席（3/1・12・14・20）

<その他各種行事・大会等>

- ・はまなす学園大学入学式に出席（4/11）
- ・留萌管内市町村教育委員会協議会総会に出席（4/21）
- ・北海道町村教育委員会連合会総会（5/13～14）
- ・天塩町社会教育委員会議に出席(6/19, 3/26)
- ・天塩町議会定例会及び臨時会に出席
（4/9, 5/23, 6/12, 8/6, 9/24～26, 11/28, 12/11, 3/4～16）
- ・北海道市町村教育委員会委員研修会に出席（7/7～8）
- ・天塩町学習サポート教室開催に協力（7/23～8/1）
- ・天塩町戦没者追悼式に出席（8/15）
- ・天塩町敬老会に出席（9/12）
- ・留萌管内市町村教育委員会委員研修会に出席（10/14～15）
- ・町民スキー場オープン式に出席（1/3）
- ・天塩町新年会に出席（1/6）
- ・天塩町成人式に出席（1/11）
- ・天塩中学校冬期学習サポート教室見学（1/22）
- ・天塩町教育三者合同研修会及び懇話会に出席（1/30）
- ・留萌管内小中学校実践報告会及び退職者激励会に出席（2/14）
- ・町民スキー大会に出席（2/15）
- ・天塩町PTA研究大会兼天塩町児童生徒健全育成連絡協議会講演会（2/28）
- ・天塩町はまなす学園大学卒業式に出席（3/7）

第2 社会教育委員の活動状況

1 社会教育委員名簿

任 期	平成25年4月1日～平成27年3月31日		
委員長	吉田 忠雄	副委員長	高橋 恵子
委 員	岩澤 貴之 (～H26.12.20)	委 員	園田 加代子
委 員	田所 勝	委 員	高原 弘雄
委 員	水口 俊夫	委 員	鎌田 英樹
委 員	ヴィッキー・マンゼル	委 員	深山 秀敬
委 員	野島 操 (H26.12.20～)		

2 社会教育委員会議等の開催状況

項 目	社会教育委員会議	会議等審議件数	各種大会・研修等
回数・件数	3回	8件	4件

3 社会教育委員会議の審議・報告内容等

開 催 日	審 議 ・ 報 告 内 容 等
第1回 6月19日	(審議・協議等) ・平成26年度各種研修会・道社会教育研究大会等について ・平成26年度天塩町社会教育推進事業について ①平成26年度生涯学習・スポーツ主要予定事業 ②平成25年度各種施設の利用状況等(社会福社会館、図書室) ・平成26年度天塩町社会教育中期計画領域別推進目標の設定について ①家庭・青少年・青年・成人・高齢者グループ ②芸術・文化・体育・社教施設グループ
第2回 12月17日	(審議・協議等) ・平成26年度上半期生涯学習・生涯スポーツの活動状況について ・歴史資料館、社会福社会館、町民プール、運動公園の利用状況
第3回 3月26日	(審議・協議等) ・平成26年度下半期生涯学習・生涯スポーツの活動状況について

	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福社会館、図書室、スポーツセンター、スキー場の利用状況 ・平成26年度天塩町社会教育中期計画の領域別推進目標の評価について
--	---

4 社会教育委員の主な活動状況

- ・平成26年度留萌地方社会教育委員連絡協議会総会に1名出席(5/14)
- ・第34回北海道市町村社会教育委員長等研修会に1名出席(7/7~8)
- ・第54回北海道社会教育研究大会に5名出席(10/16~17)
- ・平成26年度留萌管内生涯学習セミナー(留萌地方社会教育委員研修会)に4名出席(10/2)

5 社会教育施設等の利用状況

施設区分	25年度		26年度		増減		
	件数・日数	利用人数	件数・日数	利用人数	件数・日数	利用人数	
社会福社会館	532件	15,320人	553件	16,770人	21件	1,450人	
天塩川歴史資料館	-	922人	-	1,154人	-	232人	
ファミリースポーツセンター	-	28,988人	-	28,032人	-	△956人	
運動公園	-	6,278人	-	7,726人	-	1,448人	
内 訳	本球場	54日	1,134人	73日	1,787人	19日	653人
	サブ球場	83日	2,161人	109日	2,724人	26日	563人
	ソフトボール場	36日	850人	36日	905人	日	55人
	パークゴルフ場	昼夜263日	1,560人	311日	1,727人	48日	167人
	ゲートボール場	41日	441人	38日	470人	△3日	29人
	テニスコート	79日	132人	60日	113人	△19日	△19人
町民スキー場	50日	29,550人	50日	35,142人	日	5,592人	
天塩プール	74日	2,680人	74日	2,380人	日	△300人	
雄信内プール	50日	357人	72日	394人	12日	37人	
社会教育会館(8会館)	-	6,539人	-	900人	-	△5,639人	
世代間交流センター	-	627人	-	517人	-	△110人	
(上:ゲートボール、下:他)	-	3,690人	-	3,276人	-	△414人	
福社会館図書室	-	6,016人	-	4,606人	-	△1,410人	
内 訳	(貸出し数)	-	9,793冊	-	7,451冊	-	△2,342冊
	(蔵書冊数)	-	14,088冊	-	15,065冊	-	977冊

第3 天塩町の学校概要

経営の基本方針等	重点目標・指標等	児童生徒数及び教員等一覧																																																																																																																																																																									
<p>○天塩小学校</p> <p>1 基本方針 子どもたちは、豊かな体験を支えてくれる人々との交流を通じて、自分で定めた具体目標・数値目標を達成する。 子どもたちが、友達と協力しながら、自分の育ちを自覚し、充実した楽しい学校生活を送ることができるように、教師力・地域力を結集して、組織体として教育活動を推進する。</p> <p>2 学校課題 地域のぬくもりの中で自分らしさを発揮できる子どもの育成をめざして</p> <p>○啓徳小中学校</p> <p>1 経営基本理念 啓徳小中学校の主役は「子ども」である。 子どもたちが笑顔で登校し、ひとみを輝かせて夢と希望をもち生活する学校こそが、子どもたちにとって「楽しい学校」である。 そんな学校を実現するためには、私たち教職員が子どもたち一人一人を正しく理解するとともに、学校生活の大半を占める授業の充実を図ることが必要不可欠である。</p> <p>2 目指す学校像 (1) 自分よさに気付き、互いに発揮できる学校 キーワード『高め合う学校』 (2) 保護者や地域の願いに応え、信頼される学校 キーワード『共に歩む学校』 (3) こどもと共に学び、磨き合い、学び合う学校 キーワード『学び合う学校』</p> <p>○天塩中学校</p> <p>1 経営の基本方針 1]わかった、できた、楽しい授業 2]居心地がよくて楽しい学校 3]保護者にとっても楽しい学校 4]地域にとって楽しそうな学校 5]教職員にとって楽しい学校</p>	<p>重点目標・指標等</p> <p>≪重点目標≫ 児童一人一人の瞳が きらきら輝く学校</p> <p>≪指標≫ 子どもの心の オアシスとな る教育活動 教職員が意欲 をもち働きが いのある学校 保護者や地域 から信頼され る学校</p> <p>≪目標達成の柱≫ 柱1 わかる授業と多様な教育活動で輝く 柱2 全教職員の経営参画と協働で取り組む 柱3 学校・家庭・地域社会との連携に努める</p> <p>≪重点目標≫ 『確かな学力』と『豊かな心』を相互に高める教育の推進</p> <p>≪重点目標の達成にあたり≫ ＝教職員の姿勢＝ 1 指導理論をあてはめようとするのではなく、最適な指導方法を子どもから学ぼうとする教育に対する謙虚さ 2 子どもの成長を自らの喜びとし、子どもの心の痛みを自らの痛みとする子どもに対する愛情 3 一歩前進を目指す積極果敢な心意気で、観智と汗を結集し合おうとする協働の姿勢 4 学校や地域社会に愛着と誇りをもち、現任地での生活を全うしようとする地域に根ざす態度</p> <p>≪教職員のテーマ≫ 学校改善のための「少しの変化」と「少しの深化」</p> <p>≪具体的方針・姿勢≫ 1) 全教職員の経営参加を基本に共通理解と協働で【意欲と相互信頼】 2) 一人一人の生徒の良さや個性を大切に【生徒理解から】 3) 日々の授業を大切に【教材研究と指導法の工夫、そして日常の生徒指導】 4) 生徒を信頼する気持ち【人としての生きざま】 5) 地域での生活【地域貢献と情報発信】 6) たくましく導き優しく見守る【教えること、考えさせること、生徒の成長を待つこと】</p>	<p>(H26年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">学校名</th> <th rowspan="3">へき 地級</th> <th colspan="2">学級数</th> <th colspan="7">教 職 員 数</th> <th colspan="7">児 童 ・ 生 徒 数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">普通</th> <th rowspan="2">特別 支援</th> <th colspan="2">校長・教員</th> <th rowspan="2">養護 教諭</th> <th rowspan="2">栄養 教諭</th> <th rowspan="2">事務 職員</th> <th rowspan="2">その 他</th> <th rowspan="2">計</th> <th colspan="7">< 特別支援内数 ></th> </tr> <tr> <th>普通</th> <th>特別 支援</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天塩小学校</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>啓徳小学校</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>天塩中学校</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>啓徳中学校</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>10 (兼2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10 (兼2)</td> <td></td> <td>5</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> <td>20 (兼2)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>26 (兼2)</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>14</td> <td>4</td> <td>35 (兼2)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>50 (兼2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>227</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	へき 地級	学級数		教 職 員 数							児 童 ・ 生 徒 数							普通	特別 支援	校長・教員		養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	その 他	計	< 特別支援内数 >							普通	特別 支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	天塩小学校	1	6	1	10	2	1	1	1	2	17	22	21	19	24	25	24	135	啓徳小学校	3	3		5		1		1		7	5	3	3	4	1	1	17	計		9	1	15	2	2	1	2	2	24	27	24	22	28	26	25	152	天塩中学校	1	3	3	10	3	1		1	1	16	24	18	21				63	啓徳中学校	3	2		10 (兼2)						10 (兼2)		5	7				12	計		5	3	20 (兼2)	3	1		1	1	26 (兼2)	24	23	28				75	合 計		14	4	35 (兼2)	5	3	1	3	3	50 (兼2)							227
学校名	へき 地級	学級数			教 職 員 数							児 童 ・ 生 徒 数																																																																																																																																																															
		普通			特別 支援	校長・教員		養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	その 他	計	< 特別支援内数 >																																																																																																																																																														
			普通	特別 支援		1年	2年						3年	4年	5年	6年	計																																																																																																																																																										
天塩小学校	1	6	1	10	2	1	1	1	2	17	22	21	19	24	25	24	135																																																																																																																																																										
啓徳小学校	3	3		5		1		1		7	5	3	3	4	1	1	17																																																																																																																																																										
計		9	1	15	2	2	1	2	2	24	27	24	22	28	26	25	152																																																																																																																																																										
天塩中学校	1	3	3	10	3	1		1	1	16	24	18	21				63																																																																																																																																																										
啓徳中学校	3	2		10 (兼2)						10 (兼2)		5	7				12																																																																																																																																																										
計		5	3	20 (兼2)	3	1		1	1	26 (兼2)	24	23	28				75																																																																																																																																																										
合 計		14	4	35 (兼2)	5	3	1	3	3	50 (兼2)							227																																																																																																																																																										
		<p>年度別入学予定者数</p> <p>(H27年10月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>27年</th> <th>28年</th> <th>29年</th> <th>30年</th> <th>31年</th> <th>32年</th> <th>33年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天塩小学校</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>28</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>啓徳小学校</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	天塩小学校	25	18	28	23	19	22	20	啓徳小学校	1	4	2	1	5	2	3	計	26	22	30	24	24	24	23																																																																																																																																									
学校名	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年																																																																																																																																																																				
天塩小学校	25	18	28	23	19	22	20																																																																																																																																																																				
啓徳小学校	1	4	2	1	5	2	3																																																																																																																																																																				
計	26	22	30	24	24	24	23																																																																																																																																																																				

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性ところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
I 学校教育の充実	教育内容の充実	確かな学力の向上	<p>○天塩町学力・学習状況調査研究所の答申に基づく各学校における実践研究所が本町の学力・学習状況結果を検証・分析し、改善策等を答申した資料を参考に、各小中学校では次の具体的な方策で実践している。</p> <p>【天塩小学校】</p> <p>◆目標</p> <p>①児童の授業の理解を高める ②学び方・聞き方・伝える力をつける</p> <p>③家庭での学習習慣の確立</p> <p>◆具体的な方策</p> <p>(1)学力向上につながる日課表の工夫～</p> <p>①「朝の読書」の時間の固定化～ 児童の読書意欲の喚起と読書の習慣化に向け、担任と一緒に毎朝10分間の読書タイムを設けた。</p> <p>②チャレンジタイム(放課後学習)の設定～ 放課後の15分間を「チャレンジタイム」とし授業でわからなかったことを質問したり、基礎学力を身につけるためのドリル学習時間を設けた。</p> <p>(2)個に応じた指導の工夫～</p> <p>①T・T(少人数指導)加配を活用し、算数において習熟度別学習を計画的に行なった。</p> <p>②教師の特性を活かし、外国語学習・理科における複数指導体制を実施。</p> <p>③中堅教員による複数指導体制を整備し、若手教員の授業力向上を図った。</p> <p>④教育支援員を配置し、1年生の支援と2～4年生の算数の支援に効果的に活用した。</p> <p>⑤支援を必要とする児童の共通理解に努め、適切な教育的配慮が行われるよう全校でのサポートに努めた。</p> <p>⑥パートナーティーチャー事業の活用と各機関との連携により、個に応じた効果的な支援を図った。</p> <p>⑦外部講師による指導により、児童の個に応じた指導の実施及び若手教員の授業力向上を図った。</p> <p>(3)全校で統一した学習規律の確立～</p> <p>学習の心得を各学年に応じた形に設定し、学習規律を全校で統一して指導するよう努めた。</p> <p>(4)家庭学習の指導の工夫～</p> <p>①家庭学習について学校で統一した指導ができるよう年度当初に掲示。</p> <p>②保護者に対し全体懇談会において、学力・学習状況調査の結果を提示し、全国全道の家庭での学習時間を比較するなどして家庭学習の大切さについて話した。</p> <p>③道教委からの資料を配布し、ポスターを学校に提示して望ましい家庭学習時間について啓蒙に努めた。</p> <p>(5)学ぶ機会の拡充</p> <p>①夏季休業中の学習サポート教室では、参加を呼びかけるとともに、教員も指導者として参加し学校ぐるみで取り組んだ。</p> <p>②チャレンジテストを活用し、学習機会の拡充を図った。</p> <p>③チャレンジタイムを活用し、基礎基本の定着を図るよう努めた。</p> <p>【啓徳小中学校】</p> <p>◆目指す子ども像</p> <p>○基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、わかる喜びを実感できる子ども</p> <p>○知識・技能を活用し、課題解決に粘り強く取り組む子ども</p> <p>◆実践研究の計画(2カ年計画) ①習得に重点を置いた授業づくり</p> <p>②活用に重点を置いた授業づくり</p> <p>本年度は、②の授業づくりを 1)学びを活かす学習課題の設定</p> <p>2)身につけた知識・技能を活用する学習展開 に視点を立てて、実践を進める。</p>	<p>・ 日常の実践に有効な資料として活用され、各小中学校において教育指導の研究や改善プランの検討が行われなど、確かな学力の育成に繋がりがつつある。</p> <p>ただ、年度ごとにより比較はできないが、基礎・基本の学力は毎年着実に向上しているが、活用問題等で全国平均を下回っている。</p> <p>・ 複数教員による少人数指導の実践により、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導ができ、基礎的・基本的な習得が図られている。</p> <p>・ 夏季、冬季「学習サポート教室」の開催では、地元天塩高校の高校生の協力を得ることが出来き、生徒にも好評の教室を開催することができた。</p> <p>このことから、今後の「学習サポート教室」については、継続した高校生ボランティアの協力を得た開催が必要である。</p>	<p>・引続き学力・学習状況調査研究所による検証、改善策、資料等の発行</p> <p>・定数加配授業の継続と習熟度別学習を推進</p> <p>・地元高校生の協力を得ながら、学習サポート教室を継続開催</p> <p>・引き続き家庭学習への取組方法の指導</p>

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性ところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
I 学校教育の 充実	教育内容の充実	確かな学力の 向上	<p>◆実践の成果と課題</p> <p>成果 下位児童生徒への手立てや支援を充実させることができた。また、身につけさせた力を明確にすることで全ての子どもに定着させることを意識した授業を行うことができた。</p> <p>課題 子どもに課題解決の必要性を感じさせるような導入の工夫が必要。 終末の時間を確保し、自己評価を含めた振り返り活動の充実を図る必要がある。</p> <p>◆その他の取組</p> <p>(1)学校の特徴を生かした学習指導の改善</p> <p>①複式授業の工夫～ 小学校全学年でパソコンやiPadの活用。 ②併置校の特性を生かした小中の連携～ 小中合同での活動や9年間を見通した学習を実践。</p> <p>(2)確かな学力を身に付ける学習規律の確立と学習活動の充実</p> <p>①「学習の心得」を用いた学習規律の確立～ 小中とも「学習の心得」をつくり、定着を図る。 ②啓徳チャレンジによる全校児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着～ 全校一斉に漢字・計算問題にチャレンジし、主に基礎・基本の習得と定着をねらいとし、学力向上を目指す。 ③家庭学習の充実に向けた手立て～ 小学校では、年度初めに「家庭学習の手引き」を配布し、毎週、宿題の確認や家庭学習の通信を出す。 中学校では、教科担任と連携を密にし、生徒の実態に応じた課題プリントを出したり、家庭での学習方法・学習内容等について個別にアドバイス。 ④朝の活動や放課後学習による学習の深化補充～ 小学校では、高学年で既習の漢字と計算の定着を図るため、小1からのプリントに取り組んでいる。中学校では、読書を通じて活字に触れる機会を多くするとともに、感受性豊かな心を育てる目的で毎日の「朝読書」に取り組んでいる。</p> <p>【天塩中学校】</p> <p>◆学力向上の取組</p> <p>(1)授業とリンクさせた家庭学習習慣の形成～</p> <p>①授業者は必ず本時の学習の定着を図るための学習方法を提示。 ②家庭学習ノートやミニプリント等各学年独自に取り組んでいるものを継続的に実施。</p> <p>(2)週末課題～</p> <p>①1教科20分程度の時間でできる内容の問題を作成し、総合考査2週間前から、2回の週末を利用して週末課題に取り組ませた。 ②上記の結果、できない問題を中心に家庭学習を行い、基本的に出題された問題はできるようにする。</p> <p>(3)朝学習(基本的な問題10分程度)～</p> <p>①朝読書の時間を利用して、総合考査2週間前からテスト範囲内の基本的な問題に取り組む。 ②上記の結果、できない問題について、休み時間等を利用し、先生や周りの仲間に「解き方」を聞き、できない問題ができるよう目指す。</p> <p>◆実践研究の計画(3カ年計画)</p> <p>①生徒同士、生徒と教師が有機的に機能し合い、醸成し合う授業を構築するための、適切な課題の設定及び教材の開発 ②生徒の主体的な学び合いを促し、一人一人の学びを保证する学習展開の工夫 ③確かな学力の定着を図り、学習意欲の向上につながる家庭学習指導の工夫</p> <p>◆実践の成果</p> <p>①グループ活動を中心とした活動だったため、一人一人が生き生きと活動する場面が多く見られた。協同学習において、自分自身に与えられた役割をしっかりと果た</p>		

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性とところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
			<p>さなければ課題が解決しないということがあるため、課題への取組みが意欲的に行われていた。</p> <p>②仲間のアドバイスやフォローにより解決するなどコミュニケーションを基盤とした活動も行った。</p> <p>③協同学習の特徴を意識した箇所が見られたのは、非常に良かったが、授業を構築する中で、「個に返す」ことや「個の力を確認」することがおろそかになってしまう面もあり、授業の流れの中でそれを位置づけることは非常に重要な課題であると考え。</p> <p>◆その他の取組</p> <p>①放課後学習会・学習サポート教室による支援 放課後において、全学年の希望する生徒に対し、学習支援を実施。 長期休業中においても、学年単位で学習会を開催し、各部活動でも練習開始前に学習時間を制定するなどを実践。 また、冬季休業中の学習サポート教室を高校生サポ-タ-の協力を受けて開催。 [主な経費] ●学習サポート推進委員会補助(650千円) ●知能検査・学力検査経費(326千円)</p>		
I 学校教育の充実	教育内容の充実	総合的学習の充実	<p>○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</p> <p>・ 学校支援ボランティア「サポ天」として、地域の方々に水泳、スキー、絵画、書道、生活科、社会科、外国語活動、道徳等において授業のお手伝いを受ける。</p> <p>・ 役所、団体、企業等のご協力を得た「出前授業」の実施～萌志会の「建設業を知ろう」や「しじみ漁の見学」、「しじみの森植樹」、「酪農体験」、「リハビリ者との交流」など</p> <p>・ 学校採園「まんてん畑」活動～地域の老人会やPTA、JAの協力を得ながら、畑の苗植作業から秋の収穫まで「汗を流して作物を育てる大変さ」「収穫の喜びを味わえる」を体験する貴重な教育の場となる。</p> <p>・ キャリア教育の推進として、より広い地域で自分の将来を意識した体験活動を行い、働くことや職業に対する理解を深めるための学習を実施。更に修学旅行では、様々な職場や企業、上級学校を訪問し、自分の進路を考えたり、職業人としての生き方を考える機会にしている。</p> <p>[主な経費] ・各種行事・授業等に係る輸送の借上げ(308千円) ・ふれあい教育推進事業経費(205千円)</p>	<p>・ 社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性が育まれるほか地域との連携や交流活動に繋がっている。</p> <p>・ 自ら課題を見つけ、自ら学び、問題を解決する資質や能力を育てることにより、主体的・創造的に取り組むようになっている。</p>	<p>・学校、家庭、地域との連携を図りながら継続</p> <p>・自然環境の体験等環境教育の推進</p>
		道徳教育の充実	<p>○豊かな心を育てる道徳教育の充実</p> <p>①体験活動を取り入れた道徳教育の推進(あいさつ・ごみ拾い運動の実施)</p> <p>②心のノートの多様な活用</p> <p>③道徳推進教師を中心に、全教師の協力した道徳教育を展開</p> <p>④参観日の「道徳の時間」の授業公開</p> <p>○命を大切にすると心や感動する心、基本的な規範意識や倫理観、公共性や社会性などを育成</p> <p>・朝の読書活動やあいさつ・ごみ拾い運動の実施</p> <p>・身近な事例や新聞記事などを取上げ個人や学級の課題として考える。</p>	<p>・ 日常生活の決まりや約束を守る行動、態度を養う生徒指導ができるとともに、人や物、動植物を大切にできる気持ちが育てられている。</p> <p>・ 社会に生きる者の一員として自覚と責任感が養われている。</p> <p>・ いじめ等大きな問題は無いが、不登校が課題であるため、関係機関との連携を強め、状況に応じた対応をしていく必要がある。</p>	<p>・教育活動全体を通じ、教師を中心とした指導体制を充実し継続</p> <p>・命の大切さ、思いやりの心の育成充実</p> <p>・いじめ、不登校問題に対する課題の即時解決の推進</p>
		外国語教育の充実 特別支援教育の充実	<p>○外国人指導助手(ALT)を活用した学校授業を展開 小学校では、新しい学習指導要領により、平成23年4月1日から5年生及び6年生に外国語が実施されたことに伴い、範囲を広げ、外国人指導助手がサポートする。</p> <p>・外国人英語指導助手配置(ALT) 839千円</p> <p>○自立と社会参加の基礎を培うため、共通理解に基づく教育活動を展開すると共に、状況や特性に応じたきめ細かな教育を実施</p>	<p>・外国人(ALT)による実践活動が行なわれ、より効果が期待できる。</p> <p>・今後、より充実した授業ができるよう見守っていく必要がある。</p> <p>・学習中の持続力が増し、主体的・意欲的に取り組む様子が見られる。</p> <p>・支援員の配置により、きめ細かな指導に努めるとともに、個々の興</p>	<p>・学校と外国人(ALT)が連携を密にした児童のコミュニケーション能力を養う指導の充実に努める</p> <p>・引き続き個々に応じたきめ細かな指導が図られるよう支援員</p>

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性とところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)	
I 学校教育の 充実	教育内容の充実		<p>◆校内における支援体制の確立 ～ 特別支援運営計画の策定をもとに全校的な指導を企図した組織的運営体制を確立し、指導にあたる。</p> <p>◆学級児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握した特別支援教育の推進と充実 ～ 関係機関との積極的な連携と活用(医療機関、発達支援センター、保健士、特別支援学校など)を図る。</p> <p>◆保護者との連携強化 ～ 受容と共感的態度に努める。</p> <p>◆言語環境からの支援の充実 ～ 「ことばの教室」における有効指導の充実を図る。</p> <p>[主な経費] ・天塩町特別支援教育連携協議会 特別支援教育扶助費66千円 ・町内障害児等教育研究協議会補助金300千円 ・各種負担金(言語・就学・指導支援)の助成 50千円 ・小中学校に特別支援教育支援員の配置 5,750千円</p>	<p>味や関心を高めながら基礎的・基本的な学習の習得に努める。 ・教師間はじめ関係機関との連携を図り、個々の実態把握と適切な相談・支援体制の充実を図っている。</p>	<p>の配置 ・教育支援委員会の相談事業を活用し個に応じた適正な就学の推進</p>	
		食育の充実	<p>○栄養教諭による食に関する指導の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動と食事のあり方、望ましい食習慣と健康管理の指導 ・食中毒防止や給食施設等の定期検査の実施 ・給食での地場産品の活用促進 ～ 「ご当地グルメ給食」として、天塩町ご当地グルメ推進協議会による「しじみラーメン」とべこちちファクトリーの「アイスクリーム」を提供する。 [主な経費]●給食管理経費及び事業経費 11,582千円)</p>	<p>・食事の重要性や喜び、楽しさを理解し、心身の増進や健康に役立っているほか食事のマナーも身に付けられている。 ・学校給食施設に係る定期点検を基準に則り、実施している。 ・食物の大切さや生産者へ感謝する心を理解させる事ができている。 ・店の協力を得て、「ご当地グルメ給食」を実施したが、子どもたちには評判が良いことから、新メニューも検討し、今後も継続していく必要がある。</p>	<p>・早寝・早起き・朝ご飯運動をはじめ生活リズムの定着化を図り食育の大切さを推進 ・「ご当地グルメ給食」の継続実施。 ・安心・安全な学校給食の充実を推進</p>	
		読書活動・学校図書館の充実	<p>○読書活動を促進し、言葉を学び、感性を磨き表現力を高め、創造力を豊かにする。 ・各学校で朝読書、放課後読書の実施 ・学校図書館の図書蔵書・整備等 1,618千円 ○町図書館と学校との連携により、学校図書室の整備等を図る。 ・啓徳小学校では町図書館「移動図書館」の開催による本の展示・貸出を行う。 ・町図書館の購入図書選定員に学校関係者を入れ、児童・生徒のお勧め図書を選定。 ・図書ボランティアによる読み聞かせの支援。</p>	<p>・豊かな知識を身につけ、人間性を磨くことができるよう、更なる読書習慣の継続と読書活動の促進が必要である。 また、計画的に学校図書室と町図書館との連携を図り、読書環境の整備が必要。</p>	<p>・引き続き読書習慣の確立や本に親しむ機会の拡充を図ると共に利用しやすい環境づくりと蔵書に努める。</p>	
		教育環境の整備 充実	学校教材の 整備充実	<p>○教育の効果を高めるため、教育図書や教材の整備充実を図る。 ・教科用・教師用図書及び一般教材導入 1,020千円 ・理科教材等の導入 124千円</p>	<p>・学校教育の効果を高めるため、児童生徒の発達段階に配慮し教材の整備充実を図る必要がある。</p>	<p>・引き続き効果的に指導できる教材の整備を推進</p>
		情報教育の充実		<p>○情報通信ネットワーク及びコンピュータ等周辺機器を整備し、情報化教育の育成に万全を図る ・定期的なネットパトロールの実施 ・コンピューターソフトやウイルスソフト等周辺機器の整備 558千円</p>	<p>・年次計画どおり整備され情報通信ネットワークに慣れ親しみ、基本操作は既に身に付けられてきている。 ・今後、ネット活用の注意点や犯罪について研修や指導が必要である。 ・今後タブレット端末の導入や教育方法が課題。 ・PCの更新時期が近づいており、計画的な更新が必要。</p>	<p>・ウイルス対策やフィルタリングソフト等整備のほか、常に危険が伴うなど注意の指導充実 ・タブレットについて、今後検討していきたい。</p>
		児童生徒の 健全育成等 (健全育成、保健・	<p>○児童生徒連絡協議会や学校・家庭・地域と連携し、いじめや非行など未然防止に努めるとともに児童・生徒の健全な育成に期する。 ・町児童生徒育成指導連絡協議会補助金及び負担金 120千円</p>	<p>・児童生徒の安全確保や健全育成について、積極的に関係機関と情報交換され、児童生徒の健全育成に繋がっているが、先生方は、地域との連携が少ないことから、各種イベントや行事等を通じ積極的に</p>	<p>・関係機関と連携し地域との結びつきを促進</p>	

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性ところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
I 学校教育の充実	教育環境の整備 充実	体育・健康管理等)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏・冬休みのきまりや郊外生活のきまり等の発行 ・生徒指導に関する情報交換や健全育成の啓蒙 ○各種行事等の開催を通じ体力向上と精神のかん養を図るとともに成果の発表と交流を図る。 ・児童体育大会 179千円 ・中体連体育大会参加補助金 2,020千円 ○児童生徒の健康管理のための各種健康診断・検査等の委託事業 ・就学児検診 158千円 ・児童生徒健康診断 1,412千円 ・児童生徒の脊柱側湾検査・心臓検診 164千円 ・日本体育学校健康センター負担金 208千円 	<p>参加するよう指導していく必要もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の目的を持って活動することで、健全育成、体力の向上ほかやり遂げる満足感や児童生徒同士の交流が生まれている。 ただ、体力・運動能力が全国・全道に比べ低い傾向にあるため、学校だけでなく、日頃から体を動かし体力を身につけさせる事ができるよう関係機関・地域とも連携していく必要も望まれる。 ・学校保健、環境衛生に係る各種検査、健診等実施、児童生徒の成長を見守るとともに疾病の予防と早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力の向上と豊かなスポーツライフの基礎を培うため、体育の授業を中心とした教育活動を通じ、取組む意欲の増進など指導の充実ほか徒歩通学の推進
		安全で快適な学校環境の充実 (防犯対策・交通安全等)	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関、家庭、地域と一体となって通学路の安全点検や危険回避能力を培う防犯教室・訓練を推進し、事故防止に努めるとともに交通安全に対する意識啓発。 (交通安全・防犯教室開催による意識啓発、冬季通学路の安全確保等) ・遠距離通学対策 28千円 ・スクールバス運行事業 38,596千円 ・学校支援地域本部事業 ・スクールバス購入事業 7,245千円 ・スクールバス車庫等整備事業 42,956千円 ・通学バス待合所補修経費 90千円 ・小学生自転車用ヘルメット支給事業94千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の登下校時の安全見守りや青空教室等に協力支援するほか防犯活動を行っているが、更に内容の充実と地域全体で取り組む必要がある。 ・引き続き自転車用ヘルメットの小学生全員支給により、放課後の自転車事故防止を図る。 ・啓徳中学校の閉校に向け、スクールバス運行スケジュールの見直し今後の課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で事故防止に対する意識啓発と各種運動・安全教室等に協力・支援 ・新入学児童に対する自転車用ヘルメット支給を継続 ・委託業者も交え今後検討していく。
		教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、経験者研修、教育局指導班の学校訪問等を推進し教職員の資質向上を図るとともに、教職員の健康管理にも万全を期す。 ・町教育研究協議会補助金 400千円 ・教職員健康診断 636千円 ・天塩町を知るフィールドワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究や自主的教育研究を推進するとともに、研修会等の開催により、個々の資質向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康管理はもとより、各種研究・研修活動を推進 ・関係者と定期的会議の継続
		開かれた教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員の配置により外部評価の充実を図るとともに、教育活動の情報を保護者や地域に発信 ・学校評議員経費 105千円 ○学校評価(教育目標・方針等)を踏まえ自己目標設定や教育委員会の点検評価など具現化による地域住民への情報提供 ・学校だよりの発行 ・地域参観日開催 ・HPにより学校情報や委員会の点検評価情報の発信 ・コミュニティスクール(学校運営協議会)制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは違う視点から、地域住民の意見や情報を得ることができ実態に応じた学校運営に繋がっている。 ・自己評価をはじめ成果や課題を明らかにし、外部評価や指導助言者から意見等をいただき、次年度に向け取組んでいる。 ・H28からの実施に向け計画策定段階。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員等外部評価による学校運営の充実 ・学校評価の実施と保護者 ・学校だよりの発行と地域参観日の設定するなど、教育活動の情報公開を推進 ・関係機関との連携を図りながら継続
		学校教育施設等の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設・教職員住宅等の管理及び整備 ○学校運営に支障がないよう各学校の維持補修を計画的に実施 ○教職員住宅の維持管理など生活環境整備を計画的に実施 ・各種保守点検委託 3,960千円 ・各学校維持補修経費 2,568千円 ・教員住宅屋根外壁改修及び維持補修 12,007千円 ・天塩中学校給食室空調設備改修 2,949千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種点検委託事業や維持補修の実施により、安全安心な学校運営や職員住宅等の生活環境整備に繋がっている。施設等が古くなってきているため、今後も引き続き計画的に実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設、教員住宅等の改修維持補修を計画的に推進
		校種間連携	<ul style="list-style-type: none"> ○校種間連携 「町内小・中・高の連携事業について」の会議が開催され、平成27年度事業計画等が確認された。 1)授業見学と合評会の実施 各学校が実施している授業等に参加して、研修を深める。 2)教科ミーティング～町教育研究協議会への高校参加 3)体験入学の実施～9月に高校で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・天塩高校がこの地域の教育に大きく寄与する地域の学校として認められ、より機能する学校を目指すため、長い間地域に教育に特化して専門的に連携を構築し、研修を深め、教育活動を担ってきた小学校・中学校に学ぶ体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業の継続および教職員の連携推進。

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性ところ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
			4)学校見学会の実施～小学6年生対象で10月に高校で実施 5)地域連携研修会～12月に高校で実施 6)入学予定者の情報共有 7)高校進路担当者によるキャリアガイダンス 小学校、中学校の授業参観などの行事の日に、天塩高校のガイダンスの時間を設ける。 8)高校進路担当者による学校説明・中学校進路指導 中学校進路指導担当又は3学年担任へ学校説明 9)啓徳小学校と天塩小学校による合同学習会の実施		
		天塩小学校改築事業	○天塩小学校の体育館改築工事(25年度繰越明許)が完成。 ○体育館改築工事関連の決算額(25年度繰越明許) (委託料) 5,065千円・・・旧校舎・体育館解体工事管理・改築工事監理委託業務 (工事請負費)472,577千円・・・建築主体工事 338,688千円 電気設備工事 29,031千円 校舎解体工事 71,507千円 体育館解体工事 33,351千円 (備品購入費) 992千円・・・一般備品 (計) 477,177千円	・1年点検の実施に向け、施工業者との打ち合わせにより、今後着実に補修をしていく必要がある。	・改築事業計画に基づき計画を確実に進める。

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
II 生涯学習の推進	家庭教育機能の向上	家庭教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックスタート事業 49千円 情操教育の一環として10ヶ月検診時に読み聞かせ等、読書への動機付けを促す、絵本の楽しさを体験し乳幼児のこぼと心を育む。 ・本の読み聞かせや絵本の入ったブックスタート・バックを提供 ○幼児図書室の開放 幼児向け図書、遊具などを配置、子育て環境づくりを支援 ○家庭教育支援総合推進事業 172千円 基本的な生活習慣の育成や人格形成など家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育への参加を促進 ・人形劇「まほう使いの弟子」、人形劇「そっくりりのき」を公演。 ○家庭教育学級の開設 30千円 複式校独自に講習や実習・見学等、地域の実情に即した事業を地域住民とともに実施。 ・軽スポーツ、料理教室等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の読み聞かせを通じ、絵本の楽しさや乳幼児のこぼと心の豊かさが身に付くなど、子育てに繋がる。 ・幼児向け図書、遊具などを配置、子育て環境づくりを支援しているが、利用者の掘り起こしが必要である。 ・様々な機会を活用し親子で参加できるような事業を展開するなど子どもから大人まで楽しめる学習機会の提供により親子のコミュニケーションが図られているが、父親の参加を促していく必要がある。 ・校下一体となった各種学習が実施され、生きがいづくりに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを始め読書への動機付けを継続推進 ・利用しやすい環境づくりを推進 ・子育て支援、家庭教育学習機会の提供ほか、サークルやサポーターの活動支援を継続 ・保護者が参加する学習機会の場を提供
	生涯学習活動の推進	青少年教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○天塩町ふれあい教育推進事業 203千円 学社連携による地域教育資源人材活用を推進し生きる力、生活する力を身につける。 ・水泳学習、ごみ処理場見学、収穫祭、さくらの植樹等。 ○親子ふれあい体験学習事業 60千円 サラキシふれあい農園(夕映前の畑)活用し、農作物の播種から収穫を通じ親子ふれあい体験学習の実施(体験農園) ○関係機関・団体と連携した青少年の健全育成 ・児童生徒健全育成連絡協議会負担金等 120千円 ・ラジオ体操、子ども会ドッジボール、ミニバレー、カルタ大会の開催等 386千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育・社会教育が連携・融和し、学習の場や学習内容を共有しながら、地域の資源や人材活用など一体となって行われているが、社会参加の促進など、青少年リーダーを養成していく必要がある。 ・親子一体となった体験学習(菜園づくり)を通じ、親子の絆と子どもの心の豊かさや食育の大切さが養われている。 ・各種スポーツを通じて子ども会組織の強化と活性化をはじめ、子どもたちの健全育成につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年リーダーの養成研修をはじめ、自然や歴史・産業を活用した体験活動の充実に努めるほか親子チャレンジ教室を開催の継続 ・引続き継続 ・生活のきまりや情報交換を通じ健全育成に努めるほか各種大会を継続
		青年教育の充実	○青年ニーズの把握や自己研鑽のための学習機会や社会参加を通じまちづくりに生かす ・青年リーダーの育成や指導者研修の参加奨励 101千円 ・成人式の開催等 225千円	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動だけでなく、小学生を対象とした体験学習事業や成人式での催しほか、地域のイベント等にも積極的に参加し、まちの活性化に貢献しているが、活動そのものが停滞してきている。また、会員の減少等大きな課題もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修の参加奨励ほか、団体活動の活性化を支援
		女性教育の充実	○女性学級等通事、各種体験講座・講習会の開設 ・男女共同参画社会(エンパワーメント)の更なる定着 ○女性学級の充実 ・女性の集い、いもっ娘フォーラム、ボランティア活動等 101千円	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座で料理教室や健康づくりの指導などを実施し、参加者も徐々に増えつつある。引き続き女性問題に関する学習情報や学習機会の提供ほか現代的課題を取上げた学習の展開も必要である。 ・菜園や花壇の整備などを通じ、地域の活性化や公共施設等の景観にも貢献している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、男女共同参画に対する意識向上と各種口座の開設・女性学級などの事業展開を支援
		高齢者教育の充実	○高齢者大学の充実 高齢者大学を開校し、学ぶ機会の提供と自主的社会的参加を促進するとともに、仲間づくりと新しい知識を身につける。 ・陶芸・書道・俳句・健康・防火等講座開設 年15回開催 535千円 ・保育所や学校訪問等の校外活動や他の大学との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した学習会や健康づくりなど、教養が高まり、心身の健康保持、増進を図るとともに、心豊かで生きがいをもった生活につながる。 (新入学生4名含む学生総勢63名) 今後、更に豊かな人生経験者としての知識や体験を次世代に伝える活動を推進する必要がある。 また、老人クラブ間の交流を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいを高め、参加しやすい学習機会の継続と知識、技術を伝承する場の充実に努めるほか、今までの授業も継続

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
II 生涯学習の推進	生涯学習活動の推進	各種施設の整備と機能充実	○各種社会教育施設の維持補修と適正管理 ・社会福祉会館管理経費 13,569千円 ・社会福祉会館窓改修 1,804千円 ・社会教育会館管理経費 513千円 ○社会福祉会館図書室活動の充実 蔵書、サービス業務の充実 (図書購入 1,427千円・読書感想文コンクール 76千円)	・各施設の老朽化が進んでいることから、適正な管理運営に努めているが、引き続き計画的に整備していく必要がある。 ・利用者増につながるように、定期的に企画展を行っている。今後は、更に本の入れ替えや読書環境の充実に努めていくほか、学校との連携を図る必要がある。	継続 ・施設の利用促進のため、施設・設備の整備促進 ・道立図書館と連携を図るとともに新刊図書の実践や学校との連携を図る また、各種催し物の開催
	地域教育力の活性化	生涯学習の推進	○生涯学習の推進 ・生涯学習アドバイザー経費 1,752千円 ・社会教育推進計画書の作成	・毎年社会教育推進計画を作成し、その計画に基づき生涯学習活動の全般的な取り組みが行われている。	引続き推進計画の見直しと作成
		PTAや子ども会活動など自主的団体活動の促進	○各種団体・組織の活性化 子ども会、青年団体、女性団体など各種事業の取組み及び活動に対する助成と指導 ・子ども会育成部連絡協議会補助金 150千円 ・青年協議会補助金 140千円 ・女性団体連絡協議会補助金 110千円 ○PTA活動の充実 諸問題の把握とPTA活動の活性化等、研究協議ほか活動に対する補助 ・PTA連合会補助金 42千円	・各団体とも各種事業の取組みについては、自主的に計画立案するようになってきているが、事務的な移行については課題がある。 ・母親研修会や研究大会等の開催により親としての資質向上や家庭教育活動の充実に繋がるよう内容の充実を図る。	・継続 ・PTA母親研修会及び研究大会の内容充実
		人材バンクなど学習支援ボランティア活動の推進	○学校支援地域本部事業 地域本部事業のもと、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子ども達を育てる体制を整備し支援していく。 ・青空教室、祭典時の防犯活動ほか、登下校パトロールの実施	・学校教育の充実を図るため、児童の登下校時の見守りや青空教室等に協力支援している。また、連携を密に学校の教育活動に地域住民の知識・技能を活用する機会を設けていく必要がある。 更に、安全安心に繋がる取り組みを地域住民と一体となって取り組んでいく必要がある。	・引続き青空教室、祭典時の防犯活動ほか登下校パトロールの実施ほか協力・支援体制を継続
III 芸術・文化の振興	芸術・文化活動の振興	芸術文化の充実	○巡回小劇場の実施 300千円 児童を対象に「100万回生きたねこ」の公演 ○芸術鑑賞事業の実施 中学生以上を対象に「オズの魔法使い」600千円 各種コンサート 650千円 ○ファミリー映画館 302千円 ○町民文化祭及び留萌管内巡回陶芸展等の開催 町民や管内の芸術作品展開催や芸能発表会を開催し、技術の向上と交流を図る ○芸術・文化施設の充実 歴史資料館の運営管理と文化財の保管管理 ・歴史資料館管理経費 2,460千円 ・特別展示会等の開催(もの知り博士になろう！大図鑑展)	・日頃、生の舞台を見る機会が少ない子ども達に、劇団による演劇を見る楽しさの機会を与える。 ・日頃、芸術鑑賞をする機会が少ない生徒や地域住民に、ミュージカルや歌の素晴らしさを直接肌で感じる機会を与える。 ・日頃、映画鑑賞をする機会が少ない地域住民に、映画の素晴らしさや家族で楽しむ機会を与える。 ・町民文化祭や作品展を通し、優れた芸術・文化に接する機会が設けられ、意識の高揚と技術の交流等が図られているが、展示部門でのPRが必要である。 ・施設の適正な管理運営に努めているが、今後も施設の有効活用含め計画的に整備していく必要がある。 ・展示品の入替や歴史資料館分館(男能富)倉庫の保存等検討していく必要がある。 ・今後も特別展示会の開催等、施設の有効活用、入館者増を図っていく必要がある。	・子ども達が楽しめる公演を推進 ・子どもから大人まで一緒に楽しめる事業を推進 ・名作映画の上映を継続的に推進 ・芸能発表会や作品展の開催等のほか、相互交流や情報の共有に努める ・資料館の適正管理と充実

第4 主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とところ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 (継続・改善等)
Ⅲ 芸術・文化の振興	文化の保存・伝承	各種団体の育成と自主活動の促進	○文化連盟・サークル活動の充実及び自主講座等の奨励 ○文化連盟及び郷土文化保存会への補助 ・文化連盟補助金 80千円 ・郷土文化保存会補助金 85千円	・補助金は、有効に活用され、相互交流や各種研修等を通じ発表会や出品展が行われているが、会員の減少など課題もある。	・文化保存・伝承のため補助金交付継続と推進
Ⅳ 生涯スポーツの推進	スポーツ活動の推進	スポーツ活動の推進	○各種スポーツ大会・教室等の開催 町民ジョギング大会やスキー大会、水泳教室等を通じ、親睦と体力づくり・健康づくりを促進 ・大会・教室開催経費 1,093千円 ○社会体育施設女性開放事業 体力の増進と施設の有効活用を図る ・ミニバレーやバドミントンなど個々に応じた軽スポーツを楽しむ健康増進を図る ○各種団体、サークル組織等の活性化と充実 指導員の研修及び体育協会・各種少年団活動への補助 ・スポーツ少年団活動補助金 485千円 ・体育協会等への補助金 155千円 ・スポーツ少年団全国大会出場補助金 175千円	・各種大会の参加を募り技術向上や相互交流のほか、町民の健康づくりや体力増進に繋がっている。 ・健康づくりに、関心を高める機会の提供で、個々に応じたスポーツやレクリエーション活動を通じた、健康づくり・仲間づくりに繋がっており、利用者も増加している。 ・各種団体、サークルとも目的にあった活動が行われているなど、地域はもとより子ども達の健康増進に繋がっているが、会員等の減少により活動そのものが弱くなってきている。	・引続き体力づくりや健康づくりのため各種大会や教室の開催と推進 ・町民の体力増進と施設の有効活用を推進 スポーツの振興、指導者の養成講習をはじめ、スポーツを通じた健康づくり仲間づくりを推進
		地域おこし協力隊員によるスポーツ活動の新たな展開	○スポーツ振興のための協力隊員応募 3年間に、町のスポーツ活動・施設・大会等を体験しながら、新たな健康づくりも兼ねたスポーツ教室の企画、開催し、期間終了後には町のスポーツ振興スタッフの中核として、定住を期待する。 (主なスポーツ教室) ①ヨガ・ストレッチポール教室の開始 ②パーソナルトレーニング教室の開始	・2年間でかなり天塩町のスポーツ事情も理解でき、新たなスポーツ教室も開催してるほか、各種団体からの要望により、講師としても活動しており、高い評価を受けている。	スポーツ振興スタッフの中核を目指し、体験と新たな企画を実施
	スポーツ施設の整備充実	スポーツ施設の充実	○各種スポーツ関連施設の整備と活用 ・運動公園、スポーツセンター、町民プール、スキー場等の管理及び維持補修等 24,172千円	・計画どおりに管理運営しているが、利用率が低い施設もある。今後、利用率向上と計画的に施設・器具の充実が必要である。 ・町民スキー場管理運営に関し、天塩町スキー連盟による協力・支援により、効果的な運営がされている。 ・各種スポーツ団体等によるボランティア活動	・トレーニング用器具購入ほか、各施設の計画的な維持補修等を推進 ・今後もスキー連盟による協力依頼と体制の充実 ・各ボランティア活動の受入れ体制の充実

第5 点検・評価に関する有識者（学識経験者）の意見

1 教育委員会の活動状況について

平成26年度は、14回の教育委員会議が開かれており、必要に応じた適切な会議が行われていると認められます。

議案については、人事案件、規則改正等法的に定められている案件、一般会計予算案、各種計画案、各種調査等それぞれ教育の課題に関わる問題解決のため審議が適切に行われているものと考えられます。

会議終了後も引き続き、教育委員会事務局の活動に関する報告や、情報交換などが随時開催されており、多岐にわたる教育行政に関する事項について、教育委員と事務局間における共通認識を図る努力がなされております。

また、学校現場への訪問活動や各種行事への参加等も積極的に行われ、教育委員会活動が活発であることが伺えるところであります。

2 主な事務事業などの点検・評価について

主な施策について、教育委員会の自己による点検・評価を行ったものであります。単に当該年度の状況のみを点検・評価するだけでなく、次年度以降に向けての推進方策や方向性等について改善され、記述しており、点検・評価の方策として適切であるとは考えますが、本年度の全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、児童の学力向上について早急な対策を望まれます。

近年、日本年金機構の個人情報流出問題やマイナンバー法の施行に伴い情報セキュリティ対策が全国的に問題視されており、学校教育現場におかれても情報資産の取り扱いに注意されたい。

学校の耐震化について、天塩小学校の改築がされるなど耐震化が進む一方、教職員住宅の老朽化が著しく改修及び改築の加速化を願う。

事務事業の執行に創意工夫されているところも見受けられるが、更に地域住民の目線に立った努力や工夫が引き続き必要であるとする。

この点検・評価を地域住民に公表し、教育委員会活動が、どのような事務事業を所管しているのか知ってもらい、より「開かれた行政」の対応を、今後も必要であるとする。

3 終わりに

教育を取り巻く環境が大変厳しさを増す中で、子どもたちの育成と生涯学習社会の実現のため教育委員会が果たす役割は極めて重要であると言えます。

教育委員会の所管するすべての施策について、住民の期待に応えていくことは誠に難しいところではありますが、今後は地方教育行政法の改正趣旨に沿った首長との連携強化を図りながら、次代を担う子どもたちがこの地域に住んで良かったと心から思える施策のさらなる展開を望むところでもあります。

『点検・評価に関する有識者』

北海道立天塩高等学校校長	天田 光彦 氏
天塩町 PTA 連合会会長	泊 一章 氏
天塩町山手裏通8丁目	谷村 雅子 氏